

令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立清明小学校 第2学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・評価テストの到達度が学年平均80%未満のものを課題として考えた。漢字(70%)、聞く話す(75%)であった。 ・また、読書への興味関心が少ない児童が少なからずいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の学力調査でも言語文化に関する事項が苦手としていることから、2年としても各教科で文を書くときには、既習の漢字を必ず使うように指導をする。また、平仮名の文を、既習した漢字を使い、文を使って書き直す活動をする。 ・聞く話すの力を向上させるため、朝読書の時間に読み聞かせを行い、最後に登場人物などを聞いていく。更に、図書館支援員の方と連携し、図書時間に本の読み方について話をしてもらう。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・評価テストの到達度が学年平均80%未満のものを課題として考えた。知識技能(75%)、思考判断表現(67%)であった。 ・測定の領域では50%未満の児童が10人以上になることがあった。また、授業内で前時の振り返りをすると、やったことを覚えていない児童が少なからずいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の領域では、クラスの半数程度が到達度90%となっている。後の半数を底上げするため、ミニ計算問題を授業で5分程度入れ、繰り返し計算する機会を設ける。また、朝学習やパワーアップタイムで、計算力を向上できるようにする。 ・測定の領域の到達度を上げるために、日々の学習や生活の中で、時間や長さを調べる活動を取り入れ、会得できるようにする。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・観察記録カードに気が付いたことを文章で記述することが苦手な児童がいる。植物の観察では、植物の生長への願いを書く児童が少ない。 ・コロナ禍で、町探検を通して地域との交流ができにくいところがある。(公共施設…集団接種会場 飲食店…集団で見学ができない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察カードに記入する項目を教室で確認する。文の例示を示し、書きやすいようにする。願いを書けるように、道徳で学習したことを想起できるよう、声をかける。 ・個人で店と交渉ではなく、学校地域支援本部のコーディネーターや商店会長さん等と連絡を取り、協力いただける店を見つけていく。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で歌唱指導ができない。 ・鍵盤ハーモニカや打楽器の演奏で、音色に気を付けて演奏する技能の定着に課題がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・模範となる演奏をよく聴き、音の大きさ、強さなどを意識できるようにする。音量については、数値で示す。また、演奏を聴いて気が付いたところを出して板書するなど、目に見て分かるようにする。 ・友達の演奏をしっかりと聴く機会を設けて、違いが分かるようにする。感想を書くときには、国語の言語領域の学習を生かして、習った漢字を使うようにしたり、「私は～だと思いません。」等の文で書くようにする。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・用具や材料の基本的な扱い方は身に付いているが、表したいことに合わせて、適切に用具や材料を用いることが難しい児童がいる。 ・表現活動において、自分の思いや想像したことを表現するのに苦手意識がある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具や材料の扱い方の参考となる例をchromebookを活用し、いつでも見られる状態にして提示する。 ・鑑賞時に作品発表をして、自分の思いや想像したことを伝えられるようにする。国語の言語領域の学習を生かして、習った漢字を使うようにしたり、「私は～だと思いません。」等の文で書くようにする。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・活動ができないと、すぐに諦めてしまう児童がいる。全体的に、体力がなく、走・跳の運動遊びですぐに疲れてしまう児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士での教え合い活動(得意な子から不得意な子への教え合い、声かけなど)や個別指導を取り入れていく。 ・たくさん褒めることや、それぞれの運動の特性や楽しさを味わわせる。場や授業展開を工夫することで、「楽しそう」「やってみよう」をより多く引き出し、どの運動にもすすんで関わられるようにする。学習カードで自分の目標を設定し、意欲を引き立てる。 ・コーディネーショントレーニングを通して、体をイメージ通りに動かすことができるようにする。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行為や気持ちを自分のこととして考えることが難しい児童が各クラス5人程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵に注目し、どのような表情かを考えたり、選んだりできるようにし、気持ちを考えやすくする。国語の学習でも登場人物の気持ち、生活科では生き物の生長における思いを考えるので、他教科との関連を図って考えられるようにする。 	

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。